

会 議 録（要 旨）

|  |   |
|--|---|
| 会 議 名  | 第7回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会   |
| 開 催 日 時  | 平成23年12月12日（月）午後6時30分～8時30分   |
| 開 催 場 所  | 緑が丘ふれあいセンター   |
| 出 席 者 及 び<br>欠 席 者   | 出席者：森林育代、栗原誠、榎本茂子、小川榮子、重野吉幸、関根明美、東宮玲子、高橋眞澄、渡辺真紀子<br>欠席者：足立幸夫<br>（事務局）地域振興課主査、地域振興課主事  |
| 意 見 交 換 会  | 緑が丘ふれあいセンター職員との意見交換   |
| 報 告 事 項  | 第6回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会の会議結果について  |
| 議 題  | 議題1 男女共同参画センター「ゆーあい」について<br>議題2 その他   |
| 結 論<br>（決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）  | 議題1 男女共同参画センター「ゆーあい」について<br>意見交換会で出された意見等を事務局で集約し、次回会議にて男女共同参画センター「ゆーあい」に対しての提言書（案）を協議する。<br>議題2 その他<br>第8回会議は平成24年1月30日（月）午後6時30分から緑が丘ふれあいセンターで開催する。   |
| 審 議 経 過<br>（主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）<br><br>（発信者）<br>○印：委員<br>●印：事務局<br>◎印：ふれセン職員 | 意見交換会：緑が丘ふれあいセンター職員との意見交換<br>①武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会（以下「委員会」という。）委員紹介<br>②緑が丘ふれあいセンター（以下「ふれあいセンター」という。）職員紹介<br><br>●平成22年度に委員会から男女共同参画センター「ゆーあい」（以下「ゆーあい」という。）に対して提言書を提出し、平成22年度3月にふれあいセンターが提言書に対する回答をしているが、今回の意見交換会では初めに提言書に対する回答の進捗状況の報告、及び、事前に提出している事業等についての質問事項の回答をお願いします。<br><br>提言書に対する回答の進捗状況について<br>（委員会との連携について）<br>◎委員会との意見交換の場を設けることについては、日程調整を行った上で今後も継続して行っていきたいと考えている。<br><br>（事業の検証について）<br>◎各講座終了後に行うアンケートの内容を次回講座等に反映させるため、職員でミーティング等を行っている。<br><br>（講座の充実について）<br>◎対象世代を広げるために、今年度は土日の講座を既に3回開催しており、来年の3月までにあと3回開催する予定である。また、講座の講師を市民から募集することも検討している。 |

(情報コーナーの開放、充実について)

◎情報コーナーは図書を読む施設と位置付けていたが、利用者の使用できるパソコンの台数を増やし、交流スペースとして利用できるよう工夫を行っている。

(図書について)

◎利用者からのリクエストをできるだけ反映させるようにしているが、図書の予算に限りがあるので、図書を随時更新させるのは難しい。

「ゆーあい」に対する質問事項の回答について

(広報について)

◎「ゆーあい」はふれあいセンターのホームページ、市報、市内掲示板等で周知をしている。また、広報誌の発行頻度等については年間3回から4回発行し、講演会やデエダラまつり等で配布している。発行部数については、1回の発行につき200部から300部程度でなくなり次第増刷をしている。

(各講座について)

◎全講座共通の目的は男女共同参画を推進するための学習、知識の普及である。各講座の目的については、主に開催しているパソコン講座、ママのためのわいわいカフェについて回答する。パソコン講座は生涯学習、女性の就労支援を目的に行っているが、OSが多様化し今後対応するのが難しいため、来年度はパソコン講座を廃止し、就労支援を目的とした講座に変更する予定である。ママのためのわいわいカフェは、子育て中のママに楽しみと居場所の提供を目的として行っている。人気の講座は保育スタッフの養成講座、起業家講座等がある。利用者数及び利用者の声については、本日配布している資料のとおりである。男性、学生向けの講座は、男性向けの講座は現在パパのためのベビータッチ講座を行っている。来年2月には保護者を対象とした講座を開催する予定である。学生向けの講座の開催については検討していない。

(職員の体制について)

◎現在、夜間に講座を開催する場合は担当の職員が出勤しているが、職員の体制をシフト制にし、常時職員を配置する検討はしていない。

(年間の事業目標について)

◎一人でも多くの市民に男女共同参画を周知させることだと考えている。

(「ゆーあい」の運営に関し、成果及び障害となっている点について)

◎成果をあげている点については、ふれあいセンターを利用することにより「ゆーあい」の存在を認識し、各種講座に参加する方々もいることから、男女共同参画の啓発につながっている。障害となっている点については、ふれあいセンターの業務の中で貸館業務の割合が非常に多いことである。

(意見交換)

◎男女共同参画の講座の企画運営は知識、経験等を持っている方でないといけないので、委員会と協働して企画運営行っていきたいと考えているが、いかがか。

○委員会としても協働して企画運営を行っていきたいと考えているが、委員会の時間を使用して企画することは可能なのか。

●市としても、委員会と「ゆーあい」が連携して事業等を行ってほしいと考えており、委員会の時間を使用し企画を行うことは可能であるが、委員の謝礼の予算が年間10回分と決まっているので、その範囲内で企画してほしい。また、講座の開催については委員会の時間を使用せず、無償という形で協働してほしい。

○委員会の回数を増やすために、1回の謝礼を減らせばいいのではないのか。

●委員の謝礼を変更するのは難しい。

○事業の成果をあげれば、予算も増えると思うので、最初はボランティアでやるしかない。

○委員会と「ゆーあい」が協働して企画運営を行うことについては、来年度の課題にしてほしい。

○ふれあいセンターに市の職員がいないのは何故なのか。

●ふれあいセンターは指定管理として運営から管理まで委託をしているので市の職員はいない。

○他市の男女共同参画センターに視察は行っていないのか。

◎個人で視察を行っている。

○視察を行った結果、他市のセンターに比べて「ゆーあい」には何が足りないと考えているのか。

◎本市にはまだ男女共同参画の団体が少ないが、他市は男女共同参画の団体が活発に活動している。そのため、職員の数が多く施設も整っている。また、市民ボランティアの方々もおり、センター運営の体制が整っている。

○委員会でも他市を視察しているが、「ゆーあい」の施設が他市に劣っているとは全く思わない。

○市民ボランティアを募集して、運営委員会を立ち上げるようなことは考えていないのか。

◎指定管理という立場であることから、市と協議し決定しなければできないので検討はしていない。

○講座などの企画を市民ボランティアと共に行っていく考えはないのか。

◎今のところは検討していない。講座などのアイデア募集はセンターだよりで行っているが、男女共同参画に関する意見は全くない。

○センターだよりは限られた場所にしか配布されていないので、周知できていないと思うが広く周知することは考えていないのか。

◎平成24年1月1日号の市報に企画募集を掲載する予定である。

◎市内に男女共同参画に関する団体はどのくらいあるのか。

○ないと思う。

◎「ゆーあい」にとっては男女共同参画に関する団体がいない状況で、団体育成を行っていくこと自体が難しい。

○現在行っている講座の内容だと子育てに関する団体はできるかもしれないが、男女共同参画の団体はできないと思う。

○起業家講座は何回開催したのか。

◎2回開催している。

○起業家講座のような事業を多く開催すれば、男女共同参画の団体はできると思う。

◎多種多様な講座を開催したいが、予算がないのが現状である。また、利用者の多くが60代以上の方々なので、講座を開催しても参加者が少ない。

○参加者が多いのが事業の成功ではなく、何を目的に事業を行っているのか、またその目的を達成することが重要なことなので、参加者が少なくても問題ない。

○現在行っている講座は子育て中の親や就職したい人を対象にした内容になっており、働いている人などが対象外になってしまっている。利用者のニーズに合わせた講座を開催するのではなく、「ゆーあい」を利用しない方々をどうすれば利用させることができるのかを考えた方がよい。また、予算がないのは十分理解できるが、予算がない状況でも工夫すれば、ある程度の事業はできると思う。

○男女共同参画に興味を持っている方はたくさんいるが、「ゆーあい」を知る機会が少なすぎると感じる。「ゆーあい」を知っている人は市内の東側に住んでいる方が多く、市内の西側に住んでいる人はほとんど知らないと思うので、西側の人たちのためにも出張講座などを行った方がよいと思う。

◎出張講座については来年開催する予定である。

○子育て世代の若い方々に「ゆーあい」を利用してもらうことには成功しているが、どのようにして男女共同参画に結び付けていくつもりなのか。子育て支援センターでできることを「ゆーあい」で行う必要があるのか。

◎子育て支援ではなく、女性自立支援の目的で行っている。また、講座の中でも男女共同参画について周知を行っている。

◎夜間開催する講座はどのような内容の講座がよいのか。

○女性防災リーダーの講座やお金のことについての講座など多くの方々が興味を持つ講座の内容がよい。講座内容のアイデアはたくさんあるので、いつでも相談していただきたい。

◎「ゆーあい」としては、男性の団体が出来てほしいと考えているが、どのようなことを行えば男性の団体が出来るか良い案があれば教えていただきたい。

○地域振興課が委員会と協力して発行している情報誌「YOU・I」第22号に市内のイクメンの方が掲載されているが、そのような方々に声をかけてみてはどうか。

○誰でも気軽に立ち寄り、いろいろな方々と交流をすることができる施設にしてもらいたい。例えば映画の上映会を開催して、上映会のあとに交流する時間を設ければ、そのようなことは解決できると思う。

○週1回男女共同参画に関する話ができる場を提供し、そこに職員も一緒に参加して交流するようなことを行えば、男女共同参画の推進及び啓発につながると思う。

○男女共同参画というのは性別、年齢に関係なくいろいろな人たちが幸せになれる社会を目指すということであり、「ゆーあい」には交流の場を設定することを優先して行っていただきたい。

◎明確な事業目標を設定し、本日出された意見を今後の事業運営にいかし男女共同参画の啓発に努めていきたいと思う。

報告事項1：第6回男女共同参画推進市民委員会の会議結果について

事務局から報告し、会議録については事前に確認してもらった結果、修正等はなかったため、ホームページ等で公開している。

議題1：「ゆーあい」について

●「ゆーあい」についての意見を集約することが時間の都合上できないので、本日意見交換で出された意見等を事務局で集約し作成した提言書(案)を、次回会議で協議していただきたいと考えているが、いかがか。

|  |   |
|--|---|
|  | <p>-異議なし-</p> <p>議題2：その他<br/> (次回会議開催日)<br/> ○第8回会議は平成24年1月30日(月)午後6時30分から緑が丘ふれあいセンターで開催する。</p> |
|--|---|

|                         |  |                 |
|-------------------------|--|-----------------|
| <p>会議の公開・<br/>非公開の別</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/> 公開<br/> <input type="checkbox"/> 一部公開<br/> <input type="checkbox"/> 非公開<br/> ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>( )</p> | <p>傍聴者： 1 人</p> |
|-------------------------|--|-----------------|

|                          |  |
|--------------------------|--|
| <p>会議録の開示・<br/>非開示の別</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/> 開示<br/> <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等： )<br/> <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等： )</p> |
| <p>庶務担当課</p>             | <p>市民生活部 地域振興課 (内線： 222 )</p>  |

(日本工業規格A列4番)